

事業番号	07 06 01	事業改善シート(30年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州地酒振興事業費		部局	産業労働部	課・室	日本酒・ワイン振興室, 営業局
			実施期間	H14 ~	E-mail	jizake@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	労働生産性					
総合的に展開する重点政策	2-2 地域内経済循環の促進		2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進			
	2-3 海外との未来志向の連携					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> ・県原産地呼称管理制度の創設(H14年度) ・信州ワインバレー構想の策定(H25年度) ・日本酒・ワイン振興室の設置(H28年度) ・県内の日本酒・ワイン醸造所数 全国2位(酒蔵79か所、ワイナリー36か所(H29年度)) 	30年度 決算額	47,152 千円			
		職員数	4.00 人			
目指す姿	県産日本酒やワイン等の地酒産業の振興に向けて、醸造技術の向上や販路開拓を推進し、信州地酒の品質向上や消費拡大による地域活性化を進める。 (主な実施内容:長野県原産地呼称管理制度運営事業、信州日本酒全国NO1奪還プロジェクト、NAGANO WINEグローバルチャレンジ事業)					
事業 コスト	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度		
	予算額	前年度繰越				
		当初予算	53,985	49,856	47,152	
		補正予算				
		合計(A)	53,985	49,856	47,152	
	Aの 財源	一般財源	42,578	32,903	18,023	
		県債				
		国庫支出金	10,207	9,723	8,039	
		その他	1,200	7,230	21,090	
	決算額(B)	49,528	47,152			
概算 人件 費	職員数(人)	4.00	4.00	4.00		
	概算人件費(C)	32,408	32,872	32,872		
	概算事業費(B(A)+C)	81,936	80,024	80,024		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・NAGANO WINEブランド発信事業のうち一部を営業局に移管 ・しあわせ信州日本酒研究プロジェクト実現化事業のうち不執行分を信州日本酒全国No.1プロジェクト事業として支出(135千円)したため、決算額が当初予算額を超過 					
成果指標 設定理由	<ul style="list-style-type: none"> ①県内酒蔵の醸造技術指導による清酒の品質向上の成果を計るため、全国の酒蔵が参加する全国新酒鑑評会での金賞受賞数を指標とした。 ②PRや販路拡大による消費拡大の成果を計るため、日本酒出荷量を指標とした。 ③新規ワイナリー開設希望者へのワイン振興施策の成果の判断根拠の一つとしてワイナリー数を指標とした。 ④PRや販路拡大による消費拡大の成果を計るため、ワイン出荷量を指標とした。 					

目標に対する 成果の状況	① 高度な醸造技術の習得には一定年数を要することから、金賞受賞蔵数12蔵と目標に及ばなかったものの、前年度より増加した。 ② 国内における日本酒消費量が減少する中で、前年並みの出荷量となり、目標には及ばなかった。 ③ 醸造技術向上支援や里親ワイナリーの活用等により、小規模ワイナリーを中心に開業が進み、目標を達成した。 ④ 新規ワイナリーが多数開設したものの、小規模業者が多いため出荷量の伸びが小さく、目標には及ばなかった。
-----------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業を どのようにし ていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイン:増加するワイナリー起業希望者に対して栽培・醸造技術の習得などの支援が必要。 ・日本酒:全国的な評価を高めるため、醸造技術の一層の向上が必要。 	信州地酒(NAGANOWINE、日本酒)のブランド化を図るため、醸造技術の向上やPR等まで段階毎の支援を実施するほか、将来的な地理的表示保護制度(GI)の導入に向けた原産地制度の改革に取り組む。

3 事業を構成する細事業の内容

							(単位:千円)
No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1		信州日本酒全国No1奪還プロジェクト事業	醸造専門家による醸造技術の指導(重点蔵15場)と県産酒米の活用促進(3蔵補助)により、酒質の向上を支援	1.18	16,119	16,254	16,119
2		百花繚乱! 信州日本酒PRプロジェクト事業	酒蔵紹介ブックレットの作成(5,000部)により、信州日本酒の消費拡大と酒蔵観光を促進	0.15	1,971	1,971	0
3		しあわせ信州日本酒研究プロジェクト実現化事業	しあわせ信州日本酒研究会からのラベルデザイン等の提案の実現により、若者や女性の消費を拡大	0.15	2,000	1,621	0
		信州日本酒PR事業	-	0.00	0	0	4,330
4		信州型醸造設備開発プロジェクト事業	産学官による研究会により、先進地の視察及び県産ミズナ材を利用したワイン熟成樽を開発(塩尻市振興公社)	0.07	1,000	1,000	0
5		NAGANO WINEブランド発信事業	首都圏での知名度向上と消費拡大を図るプロモーション(NAGANO WINE FES in Tokyo参加者約800名)等を開催	0.83	10,102	10,102	10,147
6		NAGANOWINEグローバルチャレンジ事業	世界的な有識者招へい(2名)による情報発信や、海外コンクールへの参加を支援。	0.65	7,667	7,601	5,288
7		ワイン醸造技術支援事業	ワイナリー里親制度の活用(3件)やワイン分析の普及(説明会2か所)等により、醸造技術の向上を支援。	0.20	1,347	979	2,836
8		ナガノシードル情報発信事業	シードルの造り手や県内で製造されているシードルを紹介するブックレットを作成。	0.21	1,930	1,929	0
9		長野県原産地呼称管理制度運用事業	品質審査会による243品の認定の他、認知度及びブランド向上に向けたPRを実施。	0.56	7,720	5,695	8,432
合計				4.00	49,856	47,152	47,152

事業改善シート附表

当初要求
 当初予算案
 補正予算案
 点検

事業番号	事業名	信州地酒振興事業費				部局	産業労働部	課・室	ものづくり振興課			
細事業No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施状況	29年度	30年度				
							当初（千円）	要求（千円）	当初（千円）	補正（千円）	決算（千円）	
1	信州日本酒全国No.1奪還プロジェクト事業	醸造指導体制の強化	委託	醸造技術向上のため、スーパーバイザー、分析従事者を配置し技術指導を実施	醸造技術向上のため、醸造専門家及び分析従事者を配置し、技術指導の実施（重点歳15歳設定）や講習会を開催（長野県酒造組合）	計画通り ○	14,119	14,119	14,119		14,119	
1	信州日本酒全国No.1奪還プロジェクト事業	県産酒造好適米の活用促進	補助金	県産酒造好適米の活用を促すため、データ収集等醸造技術向上に向けた支援を実施	長野県育成の酒造好適米を使用して全国新酒鑑評会金賞受賞を目指す3歳に対し支援。（大信州酒造（株）ほか2歳）	計画通り ○	3,113	2,000	2,000		2,135	
2	百花繚乱！信州日本酒PRプロジェクト事業	信州日本酒の国内外への効果的な発信	委託	信州日本酒の振興のため、酒蔵を紹介するブックレットを作成	酒蔵紹介ブックレットの作成（5,000部）により、信州日本酒の消費拡大と酒蔵観光を促進（信越放送）	計画通り ○	1,245	2,000	1,971		1,971	
3	しあわせ信州日本酒研究プロジェクト実現化事業	しあわせ信州日本酒研究会による提案	直接	新需要の創出のため、しあわせ信州日本酒研究会から具体的な提案を実施	信州日本酒研究会を開催し、県内酒蔵に向けたインバウンド対応にかかる提案を実施。	計画通り ○	1,022	500	500		299	
3	しあわせ信州日本酒研究プロジェクト実現化事業	しあわせ信州日本酒研究の提案を実現化	補助金	提案を実現するため、具体的に取組む酒蔵への支援を実施	若者や女性をターゲットとした日本酒のピンラベルの開発に対し支援。（大雪酒造株式会社ほか2歳）	計画通り ○	2,500	1,500	1,500		1,322	
4	信州型醸造設備開発プロジェクト事業	研究会の開催	補助金	醸造関連機器の県内開発を推進するため、研究会の活動を支援	醸造設備の県内生産を目指す中で、産学官による研究会を発足し検討会などを実施（県外先進地視察研修、試験的ワイン熟成）（塩尻市振興公社）	計画通り ○	1,200	1,000	1,000		1,000	
5	NAGANO WINEブランド発信事業	首都圏等での情報発信	委託	NAGANOWINEのブランド化を推進するため、首都圏でPRイベントを開催、ブックレットを作成	首都圏での知名度向上と消費拡大を図るプロモーション（NAGANO WINE FES in Tokyo参加者約800名）等を開催。ラジオ放送（2回）を実施。NAGANO WINEにかかるブックレットを作成。（NAGANOWINE応援団等）	計画通り ○	10,000	11,020	9,703		9,703	
5	NAGANO WINEブランド発信事業	観光業者向けPR	委託	NAGANOWINEの取扱い増加を促進するため、旅館ホテル、飲食店、報道関係者へのPRイベントを開催	旅館ホテル、飲食店、報道関係者へのPRイベントを県内1カ所（軽井沢）で開催（NAGANO WINE応援団。参加者約100名）	計画通り ○	410	399	399		399	
6	NAGANOWINEグローバルチャレンジ事業	海外への発信	委託	国際的なブランド価値を高めるため、国際ワインコンクールへの参入支援及び世界的なワイン有識者の招へい	世界のワイン会に影響のある有識者2名を招聘し、県内ワイナリー等の情報発信を実施。海外ワインコンクールについての情報提供を行い、県内ワイナリーのコンクールへの出品を促進（（株）JTB）	計画通り ○	9,105	7,667	7,667		7,601	
6	NAGANOWINEグローバルチャレンジ事業	海外への発信	委託	—	—		0	1,266	0			
7	ワイン醸造技術支援事業	里親ワイナリーによる醸造技術研修	直接	醸造の知識と技術を習得するため、登録したワイナリーで実務研修を実施	里親登録ワイナリーでワイナリー開設希望者3名の実務研修を実施。	計画通り ○	725	0	435		67	
7	ワイン醸造技術支援事業	技術顧問によるアドバイス	直接	—	—		945	0	0			
7	ワイン醸造技術支援事業	ぶどう仕込試験	直接	個性あるワイン造りを推進するため、果樹試験場で栽培した導入品種等を工業技術総合センターで醸造	醸造用ぶどう赤白計4品種について小仕込み試験及び官能評価を実施。	計画通り ○	234	0	234		234	
7	ワイン醸造技術支援事業	地域ワイン分析ラボの普及	委託	「ワイン分析ラボ」の効果検討等による他地域での普及に向けた研究を実施	「ワイン分析ラボ」の効果検討等による他地域での普及に向けた研究・説明会を実施。（軽井沢先端学術センター）	計画通り ○	1,000	678	678		678	
8	ナガノシードル情報発信事業	ナガノシードルの情報発信	委託	ナガノシードルの認知度向上のため、シードルブックレットを作成	ナガノシードルの認知度向上のため、シードルブックレットを作成（8,000部）（（株）ながのアドビューロ）	計画通り ○	0	2,361	1,930		1,929	
7	実践力向上研修事業	スキルアップゼミの開催	直接	—	—		0	669	0			

事業番号	事業名	信州地酒振興事業費				部局	産業労働部	課・室	ものづくり振興課			
07 06 01												
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	29年度	30年度				
							当初 （千円）	要求 （千円）	当初 （千円）	補正 （千円）	決算 （千円）	
7	実践力向上研修事業	スキルアップゼミの開催	委託	—	—		0	1,000	0			
7	実践力向上研修事業	醸造セミナーの開催	直接	—	—		0	945	0			
9	長野県原産地呼称管理制度運営事業	長野県原産地呼称管理制度運営	直接	制度運用のため、長野県原産地呼称管理委員会、品目別委員会及び官能審査委員会の開催、消費者や実需者へのPRの実施	審査会による243品の認定の他、認知度及びブランド向上に向けたPR（長野の酒メッセin大阪、東京、長野と同時実施）を実施。	計画通り ○	8,367	7,720	7,720		5,695	
合 計							53,985	54,844	49,856	0	47,152	